PHE耐薬品性

株式会社カナセ　アクリル事業部

方法　　1、約30×60㎜の試験片の1/2～2/3程度浸漬するように薬品をﾎﾟﾘ容器に入れ、試験片を静かに浸漬させる。

2、蓋をして試験片の形状、色調、表面等の変化を観察する。

試験実施日　　2013/9/17～2013/10/17

評価材料　　PHE

試験結果

評価方法　○･･･変化なし　×･･･液跡の発生　他･･･詳細表記

薬品の種類		1日目	3日目	30日目
塩酸　36%	3倍希釈液	○	○	○
硫酸　62.5%	原液	○	○	薬品との境界にはっきりした白い曇り
	3倍希釈液	○	○	薬品との境界にうすい白い曇り
硝酸　60%	原液	表面全体に細かいｸﾚｰｽﾞ発生	ｴｯｼﾞが額縁状に黄変膨潤、内側ﾏｯﾄ状	板がｺﾞﾑのように軟化し黄変 ｺｰﾄ面ﾎﾞﾛﾎﾞﾛ
	3倍希釈液	○	○	○
りん酸　85%	原液	○	切断面がﾏｯﾄ状　ｺｰﾄ面変化なし	切断面が白く溶解　ｺｰﾄ面変化なし
	3倍希釈液	○	○	○
苛性ｿｰﾀﾞ　48%	原液	○	表面が白く曇り	薬品に浸漬していない面が白く曇り
	3倍希釈液	○	表面が白く曇り（濃い）	表面が白く曇り 境界に白い線
1級 酢酸（氷酢酸）　99%	原液	ｴｯｼﾞから板が溶解 ｺｰﾄ面変化なし	ｴｯｼﾞから板が溶解 ｺｰﾄ面変化なし	溶解 薬品が水飴状
	3倍希釈液	○	○	○
ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ		薬品に浸漬していない上部まで溶解	溶解が進行して変形し薬品がｹﾞﾙ状	同左
1級 ｴﾀﾉｰﾙ		○	○	ｴｯｼﾞにｸﾚｰｽﾞ ｺｰﾄ面内側変化なし
1級 ﾒﾀﾉｰﾙ		○	ｴｯｼﾞが膨潤 ｺｰﾄ面変化なし	ｴｯｼﾞが膨潤しｸﾚｰｽﾞ ｺｰﾄ面内側変化なし
1級 ｱｾﾄﾝ		ｴｯｼﾞから板が溶解 ｺｰﾄ面変化なし	溶解が進行して変形し薬品が揮発	同左（溶解の底部白い）
1級 ｷｼﾚﾝ		○	ｴｯｼﾞがﾎﾞﾛﾎﾞﾛ崩れる ｺｰﾄ面変化なし	ｴｯｼﾞから溶解 ｺｰﾄ面縞状跡
1級 2-ﾌﾟﾛﾊﾟﾉｰﾙ		○	○	ｴｯｼﾞからｸﾚｰｽﾞ ｺｰﾄ面白い縞状曇り
1級 ｸﾛﾛﾎﾙﾑ		薬品に浸漬していない上部まで溶解	溶解が進行して変形し薬品がｹﾞﾙ状	同左（薬品固化）
1級 ｼﾞｱｾﾄﾝｱﾙｺｰﾙ		ｴｯｼﾞに細かいｸﾚｰｽﾞ 表面に大きいｸﾚｰｽﾞ1本	ｴｯｼﾞがﾎﾞﾛﾎﾞﾛで表面に大きいｸﾚｰｽﾞが数本	溶解 崩れ進行中
1級 酢酸ﾌﾞﾁﾙ		ｴｯｼﾞから板が溶解 ｺｰﾄ面変化なし	ｴｯｼﾞから板が溶解 ｺｰﾄ面変化なし	溶解 薬品底部に崩れて沈殿